

令和最初の議会構成決定

議長に 山本 光俊氏 決まる
副議長に 布施谷裕泉氏



副議長
布施谷 裕泉



議長
山本 光俊

就任にあたり

町議会議長
山本 光俊

改選後の臨時会において、第34代の議会議長に選出をいただきました。職務の遂行にあたっては公正中立の立場で邁進していきます。

議員のなり手不足は全国的に深刻という認識はありましたが、当町でも2期連続で無投票、第18代議会は1名定員割れとなる波乱の船出となりました。皆様のための議会、更に身近な議会となるよう今後、議会運営、議員のあり方などを検討しながら、わかりやすい議会活動を実施し、町の発展、町民の皆様の幸せのために努力してまいります。特に議員の活動にあたりましては、職務範囲を見極め、議員としてのモラルや、あるべき姿とは何かを議会として常に研究し活動を推進いたします。今後とも議会活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長
(令和元年6月3日現在)

山ノ内町議会委員会等名簿

委員会名	所管	委員
常任委員会	総務産業	◎望月 貞明 ○小林 央 白鳥 金次 徳竹 栄子 高田 佳久 西 宗亮 山本 光俊
	社会文教	◎高山 祐一 ○山本 岩雄 湯本 晴彦 渡辺 正男 小林 克彦 布施谷裕泉
	広報	◎渡辺 正男 ○白鳥 金次 小林 央 山本 岩雄 湯本 晴彦 西 宗亮
議会運営委員会	議会運営・議会会議規則等・議長諮問に関する事項	◎湯本 晴彦 ○小林 克彦 望月 貞明 高山 祐一 高田 佳久 渡辺 正男
議会選出監査委員	高田 佳久	
北信広域連合議会議員	山本 光俊 布施谷裕泉 高山 祐一	
北信保健衛生施設組合議会議員	山本 光俊 布施谷裕泉 高山 祐一	
岳南広域消防組合議会議員	山本 光俊 布施谷裕泉 望月 貞明	

第117号
令和元年8月25日
(2019)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 山本 光俊
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



もくじ

議会構成決定・議長あいさつ……………28
第3回臨時会関連記事……………29
第4回定例会関連記事……………30
一般質問……………31
常任委員会視察報告……………42
みなさんからの請願・陳情……………44
新議員紹介・編集後記……………45

僅差での接戦

第18代 議長・副議長選挙結果

5月16日、当選議員による初めての懇談会が行われ、初議会の運営方法を決め、議長、副議長の立候補を受け付けました。また、6月3日第18代議会議員最初の議長・副議長の選出は、議員内での選挙で行われました。

立候補者

議長選挙

- ・高田 佳久
- ・山本 光俊

副議長選挙

- ・布施谷 裕泉

選挙方式

- ・投票による選挙
- ・投票は単記無記名（一人の名前だけを書き、投票者名は書かない）

議長選挙開票結果

- 山本 光俊 7票
- 高田 佳久 5票
- 無効 1票



副議長選挙開票結果

- 布施谷 裕泉 7票
- 高山 祐一 5票
- 無効 1票

選挙後、各常任委員の選任を行った後、常任委員会において、委員長並びに副委員長を互選で選任しました（委員会構成に関しては、前頁参照）。

お詫びと訂正

議会だより116号（5月号）の記事に誤りがありました。○23ページ（人事案件）（誤）：平成31年4月1日から平成36年3月31日まで（正）：平成31年4月1日から平成35年3月31日まで

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

監査委員には高田佳久議員

6月3日、4月の町議会議員改選後初、令和元年第3回議会臨時会が開催されました。町側から提案のあった人事案件1件の同意、報告1件の受理、専決処分承認9件を承認しました。

人事案件

監査委員（議員のうちから選任する監査委員）

- 高田 佳久（金倉）

- 起立 9人
- 不起立 2人

専決報告

平成30年度山ノ内町一般会計予算繰越報告

- (1) 民有林道改良事業 584万円
- (2) 国立公園整備事業 5613万円
- (3) 小学校冷房設置事業 1億4441万円

専決承認

補正予算に関しては、平成30年度の事業確定による補正が主です。

- (1) 一般会計（第9号）

- 歳入歳出それぞれ 2億2811万円減
- (2) 国民健康保険特別会計（第4号）
- 歳入歳出それぞれ 1248万円減
- (3) 後期高齢者医療保険特別会計（第2号）
- 歳入歳出それぞれ 123万円減
- (4) 介護保険特別会計（第4号）
- 歳入歳出それぞれ 2520万円減
- (5) 公共下水道事業特別会計（第3号）
- 歳入歳出それぞれ 542万円減

- (6) 農業集落排水事業特別会計（第3号）
- 歳入歳出それぞれ 192万円減
- (7) 介護保険条例の一部改正
- 低所得者の保険料率の改定
- (8) 税条例等の一部改正
- 項ずれ、文字の修正等
- (9) 国民健康保険条例の一部改正
- 保険税上限額の改定



第18代山ノ内町議会

年度一般会計
元一般
総額約3億円の補正予算
プレミアム付商品券事業に1億3810万円

令和元年第4回議会定例会は、6月14日から27日までの14日間にわたって開催されました。

今議会には、町側から専決処分の報告1件、その他報告3件、令和元年度一般会計他2会計補正予算、工事請負契約の締結3件、売買契約の締結2件、条例の一部改正2件が提案され、原案のとおり、受理、可決しました。

元年度一般会計補正予算

(※肉付け予算)

歳入歳出それぞれ2億8872万円を追加し、歳入歳出の総額を73億9772万円とするものです。大型の補正予算となりましたが、主に消費税増税にともなう国主導のプレミアム付商品券事業が大きい比率となっております。

〈歳入の主なもの〉

- ・プレミアム付商品券事業補助金(国) 3410万円
- ・プレミアム付商品券事業販売代金 1億400万円
- ・財政調整基金繰入金 5273万円

〈歳出の主なもの〉

- ・町債 5790万円
- ・プレミアム付商品券事業委託料 1億3464万円
- ・(仮)すがかわふれあいセンター改修設計委託料 2448万円
- ・道路維持費 2260万円
- ・道路改良費 2053万円
- ・農業用ハウス強靱化緊急対策事業 973万円
- ※肉付け予算：町長改選期のため最低限必要な経費とした当初骨格予算後、政策的経費や新規事業費等、町長の意向を反映させた補正予算。

プレミアム付商品券を買える人は？

消費税率の引上げによる負担が相対的に大きいと考えられる、「①住民税非課税の方」と、「②学齢3歳未満の小さな乳幼児のいる子育て世帯の方」が対象です



出展：内閣府ホームページ

旧北小学校解体に6858万円

工事請負契約の締結

(1) 旧北小学校解体工事

契約金額 6858万円
契約の相手方 (株)下田土建
落札率 99・64%



一部解体される旧北小学校

売買契約の締結

落札率 48・7%

(1) 除雪車の購入

契約金額 1639万円

契約の相手方

(株)前田製作所飯山営業所

落札率 59・84%

(2) 塵芥車の購入

契約金額 875万円

契約の相手方

(有)山ノ内自動車工業

落札率 89・7%

条例改正

(1) 町営水道条例の一部改正

改正 消費税が8%から10%に変更になることとともなう水道料金、下水道使用料の改定で

行し、水道は令和元年12月徴収分、下水道は令和2年1月徴収分から適用されます。

(2) 山ノ内中学校長寿命化改修工事変更契約

変更前 7億9272万円

変更後 8億 460万円

変更理由 想定より老朽化が進んでいた等

(3) 有線放送電話施設撤去工事

契約金額 7489万円

契約の相手方

矢木コーポレーション(株)

ズバリここが知りたい

論戦 楽ちんバス、農業振興、副町長の役割 など

6月18日、19日、20日の3日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

今議会の登壇議員は10人、傍聴者は30人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①	 高田 佳久	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習および社会教育における公民館活動の推進状況は ・環境負荷の少ない循環型社会づくりを ・学校給食費の公会計化に向けた取り組みを ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗は ・地域の生活環境に重大な悪影響をおよぼす老朽化した空家への早期対応を
②	 山本 岩雄	<ul style="list-style-type: none"> ・町長選公約について ・小学校の統合問題について ・ユネスコエコパーク推進について
③	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の働き方改革について ・農業振興について ・水道施設について
④	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成と奨学金貸与制度拡充について ・町ホームページの内容充実はどう取り組むか ・公共施設等総合管理計画の進捗状況は ・審議会等諮問機関の増設を
⑤	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・楽ちんバスについて ・飯山駅からの2次交通について ・湯田中駅のガイドセンターについて
⑥	 布施谷裕泉	<ul style="list-style-type: none"> ・学習及び子育て環境の充実に向けて ・農業振興策 国の方針と対応 ・孤立を生まない社会づくりに向けて
⑦	 高山 祐一	<ul style="list-style-type: none"> ・楽ちんバス運行について ・湯ノ原町営住宅について ・情報誌KURA発刊の「山ノ内町」について
⑧	 湯本 晴彦	<ul style="list-style-type: none"> ・救急出動における病院確保について ・空き家対策について ・有害鳥獣対策について ・副町長の役割について
⑨	 望月 貞明	<ul style="list-style-type: none"> ・町の人口について ・人口減少下の消防団について ・がん対策について ・交通安全施策について
⑩	 小林 央	<ul style="list-style-type: none"> ・副町長のこの町への姿勢、決意について ・町長交際費の公開について ・各業務における情報収集体制の確立について ・システム経費の管理体制の確立について

悪影響を及ぼす空き家への対応策を

町長—空家等対策計画に基づいて推進



たかだ よしひさ
高田 佳久

質問 29年7月に道路法の

関連で、建築物の維持保全
についての指導が行われた
が、所有者の対応は。

建設水道課長 文書により
指導等を行い、所有者等と
立入調査を実施した。

質問 立入調査後、所有者
の対応と改善の状況は。

建設水道課長 現場の状況
は所有者等も十分把握され
検討したいとの返答はあつ
たが、現在のところ改善に
は至っていない。

質問 特定空家となる判断
基準は。

建設水道課長
①そのまま放置すれば倒壊
等、著しく保安上危険とな

る恐れのある状態。

②そのまま放置すれば著し
く衛生上、有害となる恐れ
のある状態。

③適切な管理が行われてい
ないことにより、著しく景

観を損なっている状態。

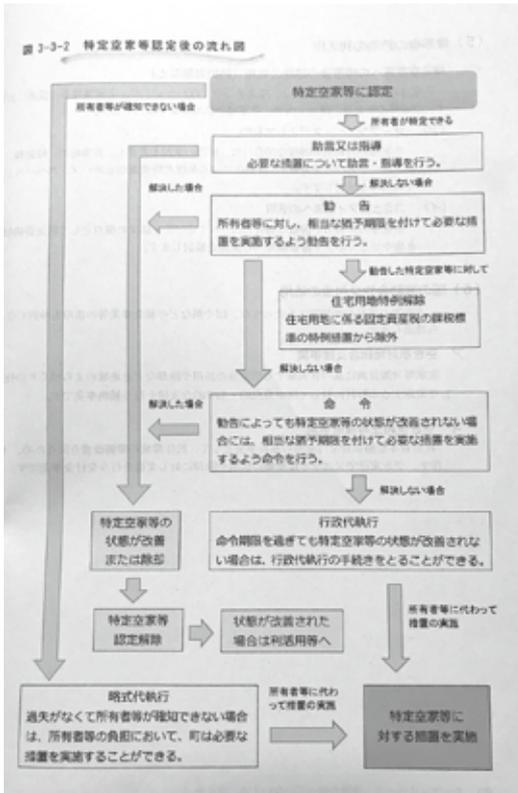
④周辺の生活環境の保全を
図るために放置することが
不適切である状態。

質問 基準に従えば、立入
調査を行った物件は、特定

空家に認定されるべきと考
えるが。

建設水道課長 空家対策協
議会等の皆さんにも相談し
て、検討を進めたい。

質問 空き家の近隣での鳥



特定空家等認定後のフロー
(山ノ内町空家等対策計画より)

獣被害はもちろんのこと、
遠方での被害も出始めてお
り、年々被害も増加傾向と
なっている。

近隣住民にしてみれば、
常に危険と背中合わせの状
況が日常生活の中であり、
地域の実情とすれば待った
なしの状態。

特定空家の認定を含め早
急に対策を実施すべきでは。

町長 専門家の皆さんに参
加いただき空家等対策計画
を策定した。

今後、計画に基づき進め
ていくが、個人の財産に係
る部分があるので、専門家
等の指導や意見を聞く。

また、同様の案件を抱え
る他市町村との情報交換も
行いながら、観光地という
一面もあるので、精一杯対

環境重視の時代、プ
ラごみ対策が世界中
で取り組まれます。
当町でも対策が必要
となります。

高田佳久のつぶやき

学校給食費の 公会計化を

質問 公会計化に対する考
えは。

教育長 今後、文部科学省
より公会計化に関するガイ
ドラインが示される予定。
参考にし、より良い方法を
検討したい。

質問 学校給食費は公会計
化および地方公共団体によ
る徴収を基本とすべきであ
り、それ以外の学校徴収金、
学年費等についても公会計
化に向けた取り組みを進め
るべきと考えるが、総合教
育会議での検討を。

町長 教育委員会と相談し
て対応する。

町長の選挙公約の具体は

町長一きめ細やかな住民サービスと住民の灯台の役割を果たす



やまもと いわお
山本 岩雄

※1 スノーパル：須賀川地区の豊富な雪量を利用した雪室貯蔵施設。町は「山ノ内町雪室利活用協議会」を設置し、雪室ブランドの浸透をはかっている。

※2 県内三地域：現在ユネスコエコパークに認定されている全国10地域のうち、志賀高原ユネスコエコパーク・南アルプスユネスコエコパーク、甲武信地域ユネスコエコパークの三地域には長野県内の地域が含まれる。

※3 JBRN（ジェイブルン）：日本ユネスコエコパークネットワーク。毎年7月に総会が開かれる他、学習会や情報交換、現地視察などをとおして、各地のユネスコエコパーク間の連絡調整などを行っている。

平成27年10月から平成29年6月末まで竹節町長が会長を務め、志賀高原ユネスコエコパーク協議会に事務局がおかれていた。

質問 地産外消、地産地消の進め方は。
農林課長 市場を訪問し、トップセールスを実施してきている。
町長 関西方面はキノコが中心で、りんごについては将来的には対応も考える。
質問 教育環境整備の現状は。
教育長 トイレの洋式化は、東小と西小の低学年については完了。令和2年度に南小の低・高学年と東小高学年、令和3年度に西小高学年の工事を計画している。エアコン設置は、3小学校の普通教室と特別教室で工事中。
健康福祉課長 本年度、全保育園の冷房設置工事を行う。トイレ洋式化は全園で完了。

質問 安心・安全なまちづくりの進め方は。
建設水道課長 現地確認の上、実施計画に計上し事業を進めている。橋梁の長寿命化を順次進めていく。

建設水道課長 景観条例・景観計画に基づき景観の保全につとめていきたい。
質問 自然エネルギーの活用を取り組みは。
総務課長 太陽光発電や温泉熱利用に関わる補助、ま



中学校普通教室のエアコン設置状況

た、スノーパルによる農産物の高付加価値化に取り組んでいる。小水力発電事業の支援にも取り組んでいきたい。
質問 観光や農業の振興の取り組みは。
農林課長 農業振興会議での取り組みや農業就業奨励金、新規就農者支援事業等の資金援助、北信農業改良普及センターやJA等と技術面・経営面でのサポートなどを行っている。農業機械等導入支援事業、ブランド農業、生産振興対策事業などの支援等で荒廃農地対策を行っている。

観光商工課長 各種の観光振興施策を推進している。観光インフラ整備を行うことが必要だと考えている。
質問 小学校の統合
質問 小学校1校統合の経緯と現状は。
教育長 総合教育会議で1校統合の方針は保持し、出生数により統合を進めるようにしている。
質問 早期小中一貫校の取り組みへの考えは。
教育長 28年度の基礎的調査で中学校敷地内への小学校建設は難しいと判断した。

ユネスコエコパークの推進

質問 県内三地域の連携をはかることは。
町長 甲武信地域も今後JBRNの正式会員となると思われるので、本ネットワークを通じて情報交換をはかっていく。

初めての一般質問、緊張しました。学びました。これからの議員活動のスタートです。

山本岩雄のつぶやき

新東部浄水場 給水区域の想定は

町長—町全体の約55%を賄う



しろとり きんじ
白鳥 金次

※1 ESD (持続可能な社会づくりの担い手を育む教育) : 地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、一人ひとりが自分でできることを考え、実践していくことを身につける学習や活動。

※2 ワークライフバランス (仕事と生活の調和) : 一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発などにかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活の双方の調和の実現。

昭和の時代小・中学校には田植え、稲刈り休みがありました。ESDの先取り!

白鳥金次のつぶやき

【質問】 災害事故等に対応する危機管理マニュアルは策定されているか。

【町長】 ついての取り組みは。

水道は重要なライフ

ラインであるので、必要な都度予算をとって対応して

いく。精一杯安心・安全な水の供給につとめていきたい。

【建設水道課長】 災害時においての、各戸への給水方法については、給水車の配置を広域連携で検討を深めていきたい。また、管網図の整備を今年度より実施していく。

【質問】 原水流域の森林および土地の確保に向けて、水道水源林管理計画は策定されているか。

【建設水道課長】 外国資本の参入等の状況を把握し、危機感を持って対応していく。

【質問】 各浄水場の水源施設が老朽化している、整備に



老朽化している現東部浄水場 (築51年目)
新東部浄水場の建設計画が進んでいる

農業振興施策の検証はされているか

【町長】 町では農業委員会やJA、各地区農業振興会議等と連携し農業における課題把握につとめ、さまざまな制度活用による農業振興や荒廃農地の解消などにつとめている。

【質問】 荒廃農地等利活用促進交付金の活用状況は。

【農林課長】 国の交付金制度は平成30年度をもって事業廃止となったが、町単独事

業の「元氣だせ!活かせ遊休農地復活補助金」の活用により荒廃農地の解消がなされてきている。今年度も1万2000㎡の事業要望があることから、この6月補正予算で要求している。

【質問】 ESDとして小中学校で取り組むことは可能か。

【農林課長】 町内の各小学校では、学校近くの農地を利用しリンゴや米等の栽培体験を行っている。また中学校では農家において職業体験を行うなど、農業を学習のカリキュラムに取り入れている。農作業体験等を通じて町の基幹産業である農業を理解し、魅力を感じることで町の農業も持続的に次世代へつなげていくことを期待し、大変重要な取り組みと認識している。今

職員の働き方改革は進んでいるか

後も可能な支援をしていく。

【町長】 長時間労働の是正や均等待遇の確保、仕事と生活の両立などを目指している。さまざまな施策に沿って職員一人ひとりの可能性が十分に発揮され、生きがいを持って働ける職場づくりにつとめている。今議会の補正予算での職員提案制度の報奨制度もその一つ。

【質問】 女性活躍・働き方改革の推進は。

【総務課長】 ワークライフバランスの実現に向け、休業休暇制度の活用や時間外勤務の削減、職員の定数適正化、意識啓発などに取り組みたい。

町奨学金貸与制度の拡充を

教育長—現状維持だが研究はしていく

町の現状と 国の新制度は

質問 町奨学金貸与制度の利用者の現状は。

教育長 26年度4人、27年度3人、28年度1人、29年度9人、30年度3人、今年度は8人が利用している。

質問 国の新給付型奨学金の内容は。

教育長 来年4月に進学する学生から授業料の減免や給付奨学金の支援対象者が広がり、世帯収入の基準を満たして、学ぶ意欲があれば成績だけで判断せず支援が受けられるというもの。
質問 これは消費税増税分を財源とすることが前提となっていて、低所得者ほど負担が重い税金で賄う仕組みなのは問題だ。町の制度も国の新制度に対してどう



伊那市が実施する奨学金返還支援事業（伊那市HPより）

伊那市が実施する奨学金返還支援事業（伊那市HPより）
補完していくかが問われている。町の制度は国の制度と両方を利用することができないことになっているが見直す考えはないか。

人材確保のための 奨学金を

教育長 今のところは現状維持と考える。
質問 町にはかつて保健婦奨学金貸与と規程があった。昭和49年に制定、平成16年に廃止されている。将来町で保健師として働くことを前提に、年額15万円を貸与し、卒業後2年間勤務すれば全額返済免除という制度だった。当時は、保健師の

確保という人材育成が目的だった。今、全国的に保育士不足が深刻だ。かつての制度に倣って、保育士の奨学金貸与制度をつくる考えはないか。

町長 保育士確保には苦慮しているが、突発的な提案で全く検討していない。
質問 民間の介護事業者も介護人材の不足に悩んでいる。事業者独自で奨学金制度を検討するところも出てきている。町の制度も新しい形で見直せないか。

教育長 現状維持ということをお願いしたい。
返済免除条件の見直しを

質問 町の現状の奨学金貸与は、町内在住で10年返済の後、残りの返済を免除となっている。対象となるのは大学の15年返済の5年分と高等専門学校12年返済の2年分のみだ。10年間町内在住という条件は、後継ぎではない人にとっては結婚による移住などの障害にもなり得る。この返済免除条件を見直す考えはないか。

教育長 近隣の状況と比較しても町は条件がいいと思っっている。現状で理解を。
質問 Uターンを促すことも大事だが、結婚にも影響するような内容はもうちょっと配慮が必要ではないか。町の将来の人材確保のためにも奨学金制度の研究を。

教育長 研究については今後もしていきたい。



わたなべ まさお
渡辺 正男

町出身アスリートの活躍がめざましい。ユニバーシアード、世界選手権、甲子園。明るい話題が町を元気にする。

渡辺正男のつぶやき



とくたけ えいこ
徳竹 栄子

※楽ちんカーサービス：当町の宿泊者のみ対象。タクシー代2500円、レンタカー代5000円の補助金が支給される。

高齢者・免許返納者増加にどう対応するか

町長―福祉乗り物乗車券を交付する

楽ちんバス利用者増加を

質問 現時点の詳しいデータはないとのこと。今後楽ちんバスの運行改善のために調査が必要と考えるが。

総務課長 本年度の事業として調査を実施していく。

質問 町長が許可すれば、観光客の乗車も可能とのこと。利用者増と収入アップのため認めるべきでは。

総務課長 観光客を乗せる事は100%無理ではないが、住民利用が基本。難しい状況である。

質問 空白地域宇木にルートを増設し利用者の増加を。



いつか楽ちんバスで北信病院へ

総務課長 広域的な路線の中で考えられるルートと思う。広域で意見を出していく。

楽ちんバスの中野乗り入れは

質問 地域公共交通会議に

どんな考えで臨んでいるか。
総務課長 一番大きな要望である。今後より強く要望していきたい。

質問 町全体の新たな問題。北信病院から個人病院への移行・免許返納者増加状況。病院行きは、乗り合いタクシーの方法はどうか。

総務課長 庁内の検討、近隣市町村、先進地等調査をしていければと思っている。

飯山駅からの2次交通問題

質問 現在、長野県北信地域基本計画で、飯山駅を中心とした交通インフラで地域経済を構築する計画だが、

当町へは中野駅回りで乗り換えもあり約2時間もかかる路線だけである。これでは経済効果が得られると考えるか。

観光商工課長 冬季以外は路線がない。飯山駅の新幹線停車数が少ないため、現在は、楽ちんカーサービスでの対応である。

質問 当町への宿泊客だけでなく昨シーズン野沢温泉・斑尾高原の観光客が増加している中で、このお客様を当町に取り込み、見る、食べる、体験するなどによる地域全体の経済効果を高めるために新たに飯山駅→北志賀→湯田中駅ルートが必要と考えるが。

観光商工課長 グリーンシーズンの運行は現時点では難しいと考える。

質問 地域公共交通網形成

高齢者の事故多発、免許返納者へ福祉乗り物乗車券交付。良いと思うが、まだ不便は消えず。農山村の宿命かあ。

徳竹栄子のつぶやき

計画策定の会議で観光路線の研究はできないか。

総務課長 生活・観光路線が中心の意向だが野沢・木島平村も同じ悩みがあるので、当町からも要望していきたい。

湯田中駅ガイドセンターの職員体制問題

質問 観光立町の顔として対応する職員の入れ替わりが非常に多いと思うが。

観光商工課長 つてをたどり何とか確保している状況。外国語対応が必要のため、人材確保に苦労している。

質問 外国語の習得は難しい。特別手当の対応は。

観光商工課長 報酬は、中間の嘱託職員相当でプラスの手当てを言っている。

保育士不足の実情は

健康福祉課長一人材確保が難しく最低限の職員で対応

保育環境整備に向けて

【質問】 職員募集では資格年齢の上限を29歳としている。応募状況により資格年齢を広げる考えは。

【健康福祉課長】 職員の年齢バランスを考慮すれば今の採用枠が適正。

【質問】 公立・民間を問わず大きな課題は人材確保。そのために避けて通れないのが職員の処遇改善。今、民間の処遇改善を目的に、「保育士等キャリアアップ研修」が国の事業として実施されている。当町で保育士を続ける意欲を醸成するためにも、こういった取り組みを参考にすべきでは。

【健康福祉課長】 給与の関係については総務課とよく相談したい。また職階級が増



「信州やまほいく」認定を申請中の志賀高原保育園

えることでモチベーションが上がることもつながる。じっくり研究したい。

「信州やまほいく」の取り組みは

【質問】 新年度から課長が代わっている。あらためて信

州やまほいく」についての認識は。

【健康福祉課長】 県が推奨していることもあり、可能な限り進めていきたい。

【質問】 昨年は園長先生を対象に講習会を開いていた。今後に向けては現場

の保育士さんとの意識の共有が重要になる。研修あるいは講習会の予定は。

【健康福祉課長】 例年県が実施している研修については交代で参加しているが、やまほいくに特化した講習会などは予定していない。

農業振興策は

【質問】 新規就農支援で農水省の事業「農業次世代人材支援事業」に所得制限を設けるなど内容が変わってきている。当町での影響は。

【農林課長】 今年度の制度利用予定者は6名。確認したところ現段階では影響なく全員が対象となる見込み。

【質問】 この事業は町・県の負担は発生せず、全て国の事業費で賄われるなど使い勝手がいいが、他市町村に

比べ活用者が少ない。積極的に進めていくという認識でよいか。

【農林課長】 積極的に推進していく。
孤立を生まない社会づくりに向けて

【質問】 中高年引きこもり支援のあり方が大きな課題となっている。当町の実情は。

【健康福祉課長】 民生児童委員の調査で27名の方が引きこもり状態との報告を受けている。

【質問】 家族を孤立させない環境づくりで、地域支援のあり方は。

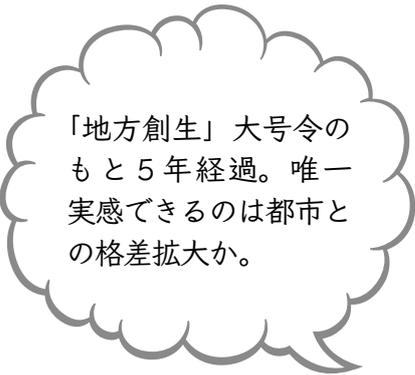
【健康福祉課長】 今は民生児童委員を中心に情報集めをお願いしている段階。状況を見て判断したい。



ふせやひろみ 布施谷 裕泉

※1 保育士等キャリアアップ研修：民間保育士の待遇向上と専門性の強化に向けて平成29年厚労省で定めた事業。研修を受講し知識・スキルを高めることに平行して「副主任」「専門リーダー」などの役職を設け、手当が支給される。

※2 農業次世代人材支援事業：就農希望者に対し、就農前の研修を後押しする資金（準備型—2年以内）及び就農直後の経営確立を支援する資金（経営開始型—5年以内）を交付（共に最大で年150万円）。



「地方創生」大号令のもと5年経過。唯一実感できるのは都市との格差拡大か。

布施谷裕泉のつぶやき



たかやま ゆういち
高山 祐一

※LGBT: Lesbian (レズビアン、女性同性愛者)、Gay (ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー、性別越境者)の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつ。

別冊KURA「山ノ内町」発行の趣旨は

町長—当町の観光と農業の魅力発信のため

質問 この本をなぜ作ろうと思ったのか。

町長 もちろん売り込みもあつたが、この町の観光と農業をいかにしてPRするか、ただ単に名所や観光スポットはいろいろなところで取り上げられてくるので、それを支える「ひと」に焦点を当てた本である。

質問 この本の評価はいかがか。

町長 やっぱり視点の当て方が私ら役場職員、素人と違って精通している。希望通りあるいはそれ以上だと高く評価している。

質問 この本が発行されたことを知らない人が多いと

思う。平成から令和へ移行するこの時代の山ノ内町を写すこの本を、多くの皆さまに知ってもらうことは大事なことだと思うが、全戸配布の考えはないか。

町長 予算措置はしていないが、これから町で購入し観光宣伝などでPRをしていく。

質問 この本が発行された旨の、町民への周知はされたか。

観光商工課長 特別周知はしていない。

質問 なぜ周知をしないのか。

観光商工課長 民間の雑誌なので町としては特にしなかつた。

楽ちんバスの現状は

質問 現在の乗車実績は。

総務課長 実証運行時の平

成29年下半期と比較して、68%に減少している。西部、南部ルートと比較すると、西部ルートは26%の減、南部ルートは50%の減である。地域全体で利用促進に協力してほしい。

質問 南部ルートは時計回りの周回コースである。反対計回りの検討はされたか。

総務課長 湯ノ原地区から湯田中駅までの乗車時間は、15分ほど長くなることから要望だが、路線ダイヤ設定に当たっては、住民要望でベターな内容にした。

質問 現在南部ルートは1日4本運行されているが、

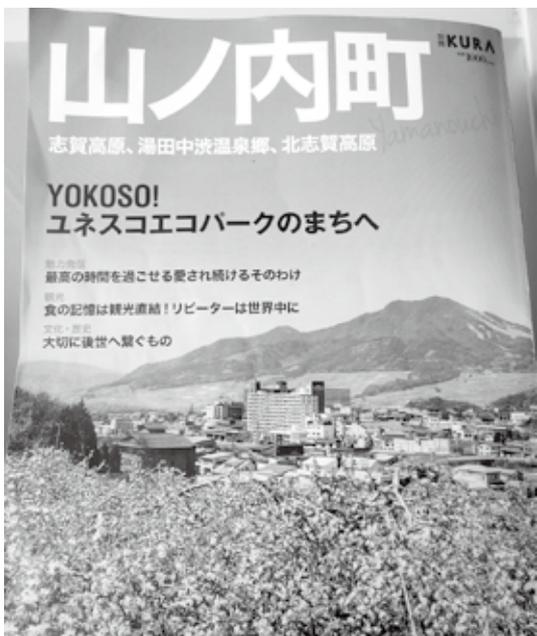
半分の2本でも反時計回りにできないか。

総務課長 それについての会議の開催、申請手続きなどの関係で、今の段階では難しい。

湯ノ原町営住宅に駐車場を

質問 町営住宅設置の目的は何か。

町長 所得の制限を設けて、住宅に困窮している方に対して、住宅を供給することである。駐車場の必要な方は、周辺の民間駐車場を利用していただきたい。



多くの人に読んでほしい別冊KURA「山ノ内町」

*「LGBT」その割合は12～13人に1人。身の回りに何人かいるかも？わからないし気が付かないだけ。

高山祐一のつぶやき

民間に任せることで、職員負担の軽減も

総務課長—民間のウェイトを高くしたい

※1 空き家バンクと 不動産会社の違いは

総務課長 不動産業者とあまり変わりがないが、行政がやっているということと信用や安心感につながる。

質問 県の楽園信州というサイトでは民間が出している情報と自治体の空き家バンクと混在で情報が載っている。民間は動画があったり顧客目線だが、自治体はただ情報を載せているようにしか見えない。また、家屋が古いため、大規模修繕が必要とか、雑草が生えている写真を載せていたり、買いたくなくなる。温泉に毎日入れるとか、ブランド農業ができるなどのアピールができるところをほとんど出した方がいいのでは。

総務課長 写真などについて



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦

※1 空き家バンク：定住促進を目的とした、自治体が推進する空き家の賃貸・売却の情報提供サービス並びに仲介。

※2 GPS：グローバル・ポジショニング・システムの略。地球上の現在位置を、人工衛星からの電波で測り知る装置。

中古住宅



山ノ内町

下高井郡山ノ内町大字平埜

価格 200万円

土地面積	394.81m ² (公簿) / 119.43坪	建物面積	144.44m ² / 43.69坪
築年月	1973年4月	間取	6SDK

山ノ内町

お気に入り

中古住宅



民間

下高井郡山ノ内町大字平埜

価格 200万円

土地面積	394.81m ² (公簿) / 119.43坪	建物面積	144.44m ² / 43.69坪
築年月	1973年11月	間取	6SDK

民間

お気に入り

県「楽園信州」より：同じ物件が、自治体と民間で掲載されている

総務課長 十分感じていて協力している。お任せできる分は民間のウェイトを高くしていきたい。

質問 老朽化したものはなかなか買手がつかない。

積極的な投資をして、付加価値をつけて売るなど、お金をかける必要がある。総合開発公社やまちづくり会社などに、積極的な投資などを促すことはできないか。

総務課長 物件の手入れは買った人がやる。空き家バンクの趣旨は今あるままの情報載せていくことなので、そこに行政が入って修繕等を行う趣旨ではない。

有害鳥獣

質問 有害鳥獣問題は直接的被害だけでなく、間接的にもお土産屋さんは戸を開けっ放しにできない。

風評被害の心配もあるので、早急に対応すべき。

農林課長 温泉街に出ているのは少ない個体の群れ。GPSをつけて、行動パターンを把握したりする考え。

質問 農を増やすにしても、結局見回りが必要になる。

農林課長 非常に有効だと捉えている。専門家の意見も入れながら検証したい。

質問 猟友会頼みになっている。民間企業も有害鳥獣対策を始めている。対策室を作るなど、本格的に予算人を投入しないと大変になる。

農林課長 担当職員も毎日のように出回っている。体制も含めて意見を聞きながら検討する。

民間活用をうまくやり、職員の働き方改革をしたい。

湯本晴彦のつぶやき

今後の人口減少対策は

移住定住推進室長―幅広い移住定住策の展開をはかる



もちづき さだあき
望月 貞明

が重要だと思つ。

消防団員不足の現状は

質問 新入団員の確保が困

難で部長経験者が留任と聞

くが。

消防課長

本年度の新入団員は定数307名中25名。

幹部の留任は52名で16・9

消防団の再編は

質問 世帯数と団員定数を

比較すると寒沢は57戸に10名、穂波温泉では205戸に11名と団員比率がアンバランスだが、小型ポンプ1台当たりの定員は適正。団員不足の原因は少子化からきている。これらを解消するには、各分団のポンプ台数、部数の見直しなどをまたいだ消防団の再編が必要と考えるが。

消防課長 消防団に検討を

投げかけてあるが、議員には各地域の中で方向を定め

ていただきたい。

役場部設置の進捗は

消防課長

役場には消防団経験者が20名以上いる。部設置に向けて、諸課題を消防団・消防署で検討中。

質問 役場部が予定するポンプの種類と保管場所は。

消防課長 費用の面から新規購入は考えていない。消防団再編で浮いたポンプを庁舎敷地内に保管・活用する方向で考えている。

骨髄移植ドナー登録は

質問 白血球の型の一致確

率は一般人で数万人に1人。登録者は全国48万人で人口当たりの登録者数は長野県が最下位。北信保健所管内の状況は。

健康福祉課長 登録者数は

220人ほど。推進月間の

スキー板
バットに変えて
甲子園

望月貞明のつぶやき

10月にポスター掲示や町内に広報している。

質問 ドナー登録には移植

に対する不安がある。移植体験者の講演はどうか。

健康福祉課長 検討したい。

ドナーの移植補助は

質問 移植には検査などで

5日ほどの休みが必要。以前からの特別休暇の他、県は本年度から補助金制度を導入したが町の対応は。

町長 本年度からの補助制度導入を検討している。

佐野遺跡の盛土に歩道は

教育長 県道との境界の盛

土を動かすには、文化庁へ届け出が必要。その際、保存活用計画策定が求められる。歩道は、その計画策定の中で検討していきたい。

今後の人口対策は

移住定住推進室長 産業振興、子育て支援をパッケージで取り組むなど幅広い移住定住策を展開したい。

質問 出生数増加の施策は。

町長 福祉や教育の充実で子育てしやすい環境への



歩道の前方に佐野遺跡の盛土

※ 町長交際費はいつ公表するのか

総務課長—公表の手続き、近隣の観光地の市町村の仕方を調査してから

【質問】 町長の交際費の使用状況について公表されていないが。

【総務課長】 交際費の公表については今後、他の市町村、観光地等の事例を十分調査したい。

【質問】 ここ5年間の町長交際費の使用日時、目的、金額、相手先の公表を求める。町民の税金である予算をどう使っているのか、その公表については当たり前のことであり、検討の余地などないと思う。すでに近隣も含め多くの自治体が公表している。いつ公表するのか。

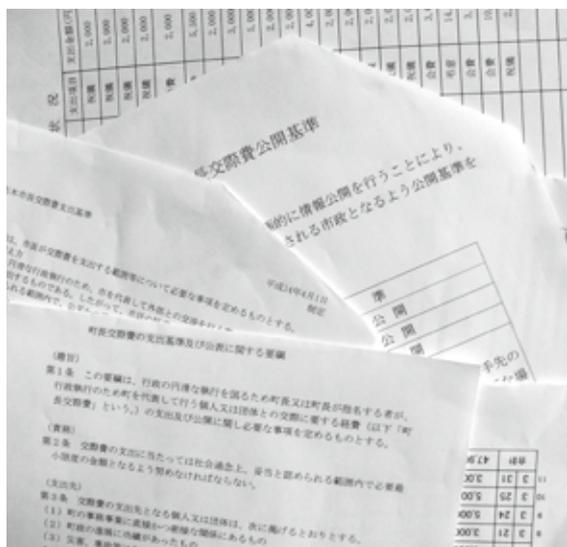
【総務課長】 公表しないとは言っていない。公表に関する要綱、規程等を定めてから公表していくことになろう。

【強い応援団、「ふるさと山ノ内会」】



こばやし ひろし
小林 央

※町長交際費：*地方財政法第四条（予算の執行等）第1項
「地方公共団体の経費は、その目的を達成するための必要且つ最少の限度をこえて、これを支出してはならない。」



公表の規則はゆっくりつくればよい。実績の公表を

【質問】 初めて「ふるさと山ノ内会」の総会に出席されたの感想を。

【副町長】 山ノ内町への大切な気持ち、愛着というものの強さを感じた。山ノ内町には力強い応援団がいるという心強く感じた。

【情報収集力の強化を】

【質問】 わが国有数の観光資源、農業資源も持っている町を活性化させるためには、消費者の動向はもろろんのこと、経済環境、政府の動き等を的確にとらえ分析したうえでの施策の策定・実施が必要である。町の各種情報収集体制に問題はないか。

【副町長】 必要なら都度、いろいろな方と電話してお越しいただいたり、私が国や県に出かけて行ったりして、いろいろな情報収集、あるいは懇談をして、できるだけ町政の中に反映できるようにしている。

【町長】 新聞、情報誌、ネット、行政懇談会、各界の人脉、各種業界との意見交換の中で収集し、分析し、町の施策に活かしている。

【質問】 町としての購買している日刊紙は信濃毎日新聞2部だけと聞いた。様々な媒体からの情報を職員間で共有し、それぞれの施策に活かす工夫が必要である。また、媒体に頼らず、実際に行動し収集する情報も重要と考える。

【町長】 必要な都度、いろいろな方と電話してお越しいただいたり、私が国や県に出かけて行ったりして、いろいろな情報収集、あるいは懇談をして、できるだけ町政の中に反映できるようにしている。

【増大する事務システムとその経費の管理は】

【質問】 職員の数が限られる中、事務の効率化をはかるうえで業務のシステム化、IT化は必須である。無秩序なシステムの増大は財政の自由度を圧迫していくこととなる。役場全体のシステム構築が適当か、導入ソフト、システムの維持管理費に無駄なものがないかなどを管理していく体制はできているか。

【総務課長】 役場職員の知識だけでは精緻な審査はなかなか難しいと感じており、業者を信頼しての契約という部分はある。

【質問】 外部の専門家に見てもらって、意見を聞くようなことも定期的に必要。

町民からの税金の使途の公表は町政運営の基本中の基本。「いかに公表するか」という難しい問題ではない。交際費、すぐに公表を。

小林 央のつぶやき

総務産業常任委員会

6月21日、総務産業常任委員会は望月委員長以下7名の委員が管内視察を行いました。今回は視察場所が多くまた、志賀高原一ノ瀬から中野市（岳南消防本部）、須賀川地区と広範囲にわたったため、やや駆け足になりましたが、担当課長等の説明を受け、充実した1日となりました。

を改善すべきか

管内視察報告

国立公園整備事業
遊歩道改修工事

志賀高原一ノ瀬で行われていた上信越自然歩道線道路（歩道）せせらぎコースの遊歩道改修工事の竣工成果を視察しました。降雪、林間学校での使用等の期間を除いての工事でしたが、県産のカラマツを使った遊歩道はきれいに整備・改修されており、自然探索を求めて訪れる多くの訪問客を森の中へと誘ってくれるでしょう。



きれいに整備されました

(新)東部浄水場
建設予定地

建設予定地を視察しました。昭和43年に建設された現在の浄水場の老朽化をふまえ、今年基本設計を、32

やまびこ広場親水施設・
トイレ棟機能向上改修工事

事業費7000万円、いろいろと議論のあった親水公園を視察しました。すでに土曜日曜には稼働しており、この議会をたよりに発行されたときには連日稼働と



町の説明を聴取

から34年度にかけ実施工事を行い完成させる計画になっています。現在ある浄水場のすぐ上手に計画された敷地もしっかりと確保されており、予定事業費はおよそ20億円を見込んでいます。生活に最も必要な水。遅滞なく工事が進み、計画とおり稼働するよう進捗管理等の徹底を期待します。ここから周囲を眺めると、山ノ内町の水の豊かさを実感しました。

もたち中心の施設のためケガ等の事故が起きないよう留意されており、トイレも改修されていました。たくさん子どもたち、町民が楽しめるよう、さらに周辺整備も含め必要な対策を講じていくことを期待します。



ケガに注意して楽しく

計量値指示式株分け機導入
(信州農業生産力強化対策事業)

志賀高原培養センターに伺い、対策事業として導入した株分け機の性能、効果等の導入結果の視察を行いました。従来作業員1人で1時間当たり250株程度の株分けをしていたものが、1日3000株の株分けが可能となり、作業効率が格段に上がっている様子が拝見できました。県からの補助金は250万円（補助率

1/2）。なお、センターにはベトナムからの研修生も配置されており、彼らの手慣れた作業状況も知る事ができました。

田舎暮らし体験住宅
「須賀川ちんち」

30年1月から利用可能となった、町への移住を希望する人に対し、一定期間、町の様々（自然、生活環境、地域住民との交流）を体験していただくための体験住宅を視察しました。旧北小学校の校長住宅を改修したもので、設備は十分に整っています。現在までの利用者は9組、利用後に移住した人は2人と決して誇れる状況ではないものの、他の地域では当たり前の施設となっており、今後の活用拡大に向けて検討が必要です。



施設はできました。活用を

県営畑地帯
総合土地改良事業

全体の動きが見えるパネル

夜間瀬かんがい排水事業組合（夜間瀬かんがい）を訪問し、青木理事長から説明を受けました。30年から31年度にかけての剣沢ダムでの工事、29年から来年度にかけての横手・畔ノ上地区での電動弁改修事業と様々な改良、修繕等が計画され、実施されています。夜間瀬かんがいについては西小学校のかんがい見学会をはじめESDの観点からも注目される施設であり、先人の労苦に大いに感謝する大切な施設であると再認識しました。

その他、黒川上川原線退避所、黒川橋樑長寿命化工事、赤城博士頌徳碑、山ノ内消防署、岳南消防本部地下式耐震防火水槽（横倉）、スノーパールの視察を行いました。

社会文教常任委員会

6月21日（金）に、社会文教常任委員会は管内視察を行いました。中野市豊田地区から志賀高原と広範囲の視察となりました。

どこを伸ばしどこ

常任委員会

豊田衛生センター

本施設は生物吸着脱臭、高い酸素溶解効率と省エネ設備の自動化と省人化、汚泥の減量化といった特色を持つ施設ですが、公共下水道の普及や施設の老朽化にともない施設としての任務を終え、本年7月までは汚泥処理を継続、その後8月には装置内の清掃を行い、来年3月には解体の予定たつております。解体費用は総額4億円ほど、そのうち建物解体には2億円程度、さらにアスベスト・ダイオキシン処理に6000万円程を計上しています。



豊田衛生センター

旧北小学校

明治10年、温知学校として開校した旧北小学校は、その後昭和30年に山ノ内町

立北小学校となり、28年西小学校に統合されました。その後、体育館は町の施設として耐震、トイレの改修が行われました。校舎本体は、管理棟を残して教室棟及び特別教室棟は解体し、(仮)すがかわふれあいセンターとして大広間を建設

施設内の改修を経て北部公民館と北部児童クラブの機能を合わせた施設として生まれ変わります。本視察では、取り壊しの範囲や解体までのスケジュール等を確認しました。



解体箇所の確認

し尿処理施設

20年に設計委託を開始し、30年度に総額7940万円をかけて町浄化センター内に完成したし尿投入施設を視察しました。本年5月の処理実績は、し尿190m³

汚泥12.6m³で、下水流入量の0.3%にあたる処理量です。



施設内部のようす

志賀高原保育園

31年度、2862万円の請負費用で志賀高原保育園の耐震補強工事が行われます。改修工事の内容は、耐震強化として耐力壁4か所の新設、2か所の耐震スリット作製、内部改修として



屋根塗装の状況

幼児用手洗い器の撤去と新設、水道管・オイルタンクの更新、外部改修としてひび割れ補修、外壁塗装(重ね塗り)やテラス補修が行われます。なお、工事期間中園児11名は、かえで保育園に登園し、合同保育が行われます。今回の視察では、昨年施工された本保育園の屋根塗装の状況も視察しました。

山ノ内中学校

工事についての説明を受ける



現在行われている山ノ内中学校の冷房と長寿命命化工事の現状を視察しました。冷房工事では、室外機の設置場所や設置状況は現状に合わせて設置を考えていることや実際の工事のようすを視察することができました。また、内装を取りはら

った状況から判明した耐震工事も必要に応じて行う予定です。さらに、昨年までに行われた体育館の改修工事についてもその一部を視察しました。

東小・西小児童クラブ

東小小学校では、低学年児童クラブ教室(シエリー組1~2年)と別棟にある高学年児童クラブ(トム組3~6年)、西小小学校では低学年児童クラブ(どんぐり組)と高学年児童クラブ(にし組)を視察しました。西小小学校では、子どもたちがトイレを使うための通路が必要との要望が出されましたが、その場で学校側と協議しました。今年度中には解決できそうです。



西小児童クラブ

みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第4号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転の国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書採択を求める陳情	全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之	不採択 委員長報告に賛成 10人 反対 2人
陳情第5号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	継続審査
陳情第6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	中高地区労働組合連合会 議長 畔上 稔 男	採 択 意見書送付 全会一致で賛成
陳情第7号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯 雄	趣旨採択 (意見書なし) 委員長報告に賛成 9人 反対 3人
発委第2号	地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	提出者 山ノ内町議会 総務産業常任委員会	採 択 意見書送付 全会一致で賛成
発委第3号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	提出者 山ノ内町議会 議会運営委員会	採 択 意見書送付 全会一致で賛成

総務産業常任委員会の陳情審査報告に対して2議員から反対討論がありました。それぞれの討論要旨は次のとおりです。

陳情第4号

渡辺 正男

玉城沖縄県知事は「強襲揚陸艦などが係留できる護岸機能を付与し、弾薬搭載エリアなど普天間にはない機能を持たせる基地は『新基地』だ」と強調した。辺野古基地建設は、基地負担軽減、危険除去とは無縁の、米軍強化再編の一環。沖縄県民が直接民主主義で示した民意も地方自治権も踏みにじられている現状を見て私たちは、沖縄の心に寄り添い当事者意識もつて問題の解決に向け行動すべき。

布施谷裕泉

去る6月23日、沖縄では戦没者慰霊祭が行われ、玉城知事は2月の県民投票の結果を踏まえ、あらためて辺野古移設の断念を求めている。

安倍首相はじめ関係閣僚は、事あるごとに「沖

縄に寄り添う」との文言を使うが、これほど空虚な使い方はない。陳情4号は採択の上、せめて「沖縄の民意を尊重し、新基地建設は強行しない事」とする意見書は提出すべきと考える。

陳情第7号

渡辺 正男

陳情は、2月の県民投票結果の72・2%もの埋め立て反対、普天間を抱える宜野湾市民でも66・8%が反対している事実も完全無視し、「移設反対派」と称し、県知事をはじめ県民に対し敵意むき出しで事実ねじ曲げの主張を繰り返している。「普天間飛行場の危険性を除去する唯一の方法は、辺野古移設しかない」との主張は、沖縄県民の圧倒的多数の民意と地方自治の理念を真つ向から否定するもの。

新 議 員 紹 介

<p>質 問</p>	<p>小林 央議員 <small>こばやし ひろし</small></p> 	<p>山本岩雄議員 <small>やまもと いわお</small></p> 	<p>白鳥金次議員 <small>しろとり きんじ</small></p> 
<p>町政への抱負</p>	<p>議員には法律的に相当の権限が与えられています。町民から負託された議会の持つ2つの使命「具体的な政策の最終決定」権限と「行財政運営の批判と監視」権限をしっかりと果すべく勇気を持って活動して行く覚悟です。そのことが次世代の町を担う若い人たちに伝えられれば良し、です。</p>	<p>地域住民のため、住民の望む町政を実現したい。そのためには地域の声をいかに掘り起こし、町政に届けるための方策を模索していきたい。地域の活性化のための方策を探り、実現に向けて尽力していきたい。教育や環境の視点から山ノ内町の独自性を追求していきたい。</p>	<p>わが町の、観光と農業は脈々と受け継がれてきたものです。先人の思いを胸に、新しい感性で、将来を見据えた産業にしたい。</p>
<p>初議会の感想</p>	<p>まずは会派。どんな会派があって、どの部分で一緒に活動できるのか？どこにも属せずに行きます。議員とは？は「議員必携」というとても親切な、良くできた参考書があって助かりました。初めての一般質問は緊張しました。副町長の時は質問はほとんどなかったのですが、こちらがやるとなると執行部側からの答弁を受けての質問をその場で考え、再質問していかなければならず、なかなか大変です。大切な場なので頑張ります。</p>	<p>まず、議会初心者として「議会の洗礼」を受けました。そこで得た教訓をこれからの議員活動にいかしていきたいと思えます。と、同時に、本当に同時にたくさんの事柄が審議されていることに驚き、理解し検討していくためにこれから努力していかなければと、痛感いたしました。</p>	<p>一般質問は、課題の多さを痛感しました。 今回は、自分の思いを具体的な言葉にして質問し、答弁を引き出したい。また、議案審議、委員会審査、管内視察、など重要な役割を担う1議員として、見聞を広め、一日も早く、先輩議員に追いつき、議会の活動を通して住民の声を町政に届けたいとの思いを強くしました。</p>
<p>明日の山ノ内町への提言</p>	<p>豊富な資源を活かしての町づくり。そのために最も大切な人づくり。やる気のある、夢のある若者はたくさんいます。皆で一緒に考え、具体的に活動をしていけば、この町は変えられる。外部で活動してきた経験をそんな彼らと共有していきたいと思えます。</p>	<p>町の人口減少は町民の生活すべてに直結する待ったなしの大きな問題です。町の産業基盤としての観光と農業は他に誇れる貴重な財産です、これらを基軸としてこれからの町の振興を町民皆さんの知恵で考えていくべきです。</p>	<p>少子化、高齢化、人口減少、観光と農業の振興などの課題にしっかりと取り組むためには、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を一步、一步進めていく。 町づくりは、人づくりと考えます。</p>



広報常任委員会新メンバー

編集後記

今号から新広報常任委員会（28ページ参照）が編集を担当します。諸事情から1か月遅れの発行となつてしまったこと、お詫び申し上げます。

議会の内容や決定の経過を分かりやすくお伝えし、親しみを持っていただける議会だよりに心がけてまいります。よろしくお願いたします。

（渡辺正男 記）